

幕あい

横浜演劇鑑賞協会

第328回観劇会

2025年5月22日



おしゃしゃのシャン

2025年
5月

おしゃしゃのしゃん!

作・坂口理子 演出・剣持直明

2025 年 5 月 22 日(木)開演 13 時・18 時 30 分

5 月 23 日(金)開演 13 時

会場・関内ホール・小ホール



「おしゃしゃのしゃん」とは、

大鹿歌舞伎のカーテンコールで出演者・観客一同で打つ伝統の手打ちの掛け声です。

「大鹿歌舞伎」とは、

長野県・伊那谷の大鹿村で村人が200年以上欠かすことなく演じ続けられている重要無形民俗文化に定されていて。春と秋の年2回催され、全国から多くの観客が集まってきて賑わっています。G・Wに会員有志9名で見学に行ってきました。

「おしゃしゃのしゃん」の舞台の物語は、

本番3日前、花形役者が倒れてしまった。そこで村の衆が知恵を絞って考えたのが東京の歌舞伎役者を呼ぶという事だった。

作者坂口理子さんは村の歴史に秘められた想いもひも解きながら「大鹿村の歌舞伎」を題材にテレビドラマを書きあげ、出演者に田畑智子、原田芳雄、尾上松也を迎えて「創作テレビドラマ大賞」を受賞。原田芳雄はその後映画化にも取り組み「大鹿村騒動記」(2011 年公開)を制作した。この映画が原田芳雄の遺作となった。



大鹿歌舞伎の舞台



野外の舞台は観客で埋まる。飲んで食べて気軽に観劇!

水

まとめ会を開催します。5月28日(金)10時30分~18時30分~

舞台の感想や会員から寄せられたアンケートを整理し、観劇会の運営についての反省、問題点を話し合います。

平岡遥奈	三宅みそら	小鮒幸子	宮内マサトモ	田中美鈴	岡戸香也	田中公士	菊池友華	結城水月	八音	山田千恵	遠藤佑哉	池田一開	樺沢大輔	松下聡	休場光生	大河原樹美	土井政春	上田祐生	坂東七笑	岩岡朝夫	すだあきら	剣持直明	石川かおり	貞岡秀司	小笠原孝佳	出演
------	-------	------	--------	------	------	------	------	------	----	------	------	------	------	-----	------	-------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	----

作者・坂口理子さん・女優・坂東七笑さんが来訪！

「おシャシャのシャン」の担当打合せ会議が3月4日（火）に開催され、作家の坂口理子さんと女優の坂東七笑さん（だるま座）が来て下さって、作品の魅力を語って下さいました。参加者は用意した椅子に座り切れない程たくさん集まりました。



坂東七笑さんと・坂口理子さん

会員の前で大いに「おシャシャのシャン」について語ってくれました。

作品を作るにあたり、大鹿村に行って村の人たちにお会いして登場人物のキャラクターを考える参考にしました。村の人たちの言葉使いの柔らかさが心地よく、登場人物のセリフに生かしたいと思いました。苦労したことはラストの終わり方でした。客席と舞台との一体感をいかに作るか、村までの景色、道のりをいかに表現するか。臨場感をどうすれば出せるかという事に頭をひねりました。

「大鹿歌舞伎」と村の人たち。稽古は農作業や仕事の合間に様々な場所で行います。昔は飯田市のお店まで衣裳を借りに行き背負子で担いで持ち運ぶなど芝居作りの歴史には様々な苦労も多くあったようです。

上演演目は12作品ほどあり、毎年演目を何にするかを賑やかに話し合っているようです。

だるま座さんがこのドラマを舞台化できないかということ放送協会に打診してOKを頂いて舞台化にこぎつけました。2023年下北沢駅前劇場で初演。横浜の運営委員も観劇して好評でした。

坂口さんのこれからの仕事は、私は山登りが好きという事もあって「てっぺんの向こうにあなたがいる」という本を登山家の田部井淳子さんが書いて、その力強い生き方に感銘して吉永小百合さん主演の映画の脚本を書きました。今秋に公開します。若い俳優とユニットを組んでミュージカルの制作と大活躍中！

最近の坂口理子さんの作品



映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」

2025年秋公開



映画「銀河鉄道の父」・2023年公開

第53回会員総会を前に「サークル懇談会」を開催しますご参加ください！

観劇会から夜の部が消え仕事が終わってからだと予定が立たない。1 ステージでは予定が組みにくい、高齢化が進み会場への足が衰えてきている。など観劇から遠ざかる会員が増えてきています。そんな中、今年度末(～5月)の財政状況が見えてきました。現在の会員数は 645 名です。予算は 670 名で立てました。このままでは年間 6 回の観劇会本数を維持できなくなってしまいます。

会員の皆さん総会までに会員を増やしましょう。とりわけ 1 名・2 名会員の皆さん、一肌も二肌も脱いでいただいて 1 名の新入会員を迎えて下さい！

皆さんからの意見を聞く中で第 53 回総会を迎えて行きたいと思います。

開催期日・6 月 3 日(火)10 時 30 分～12 時

6 月 4 日(水)10 時 30 分～12 時

6 月 6 日(金)18 時 30 分～20 時

6 月 7 日(土)10 時 30 分～12 時



開催場所・事務局

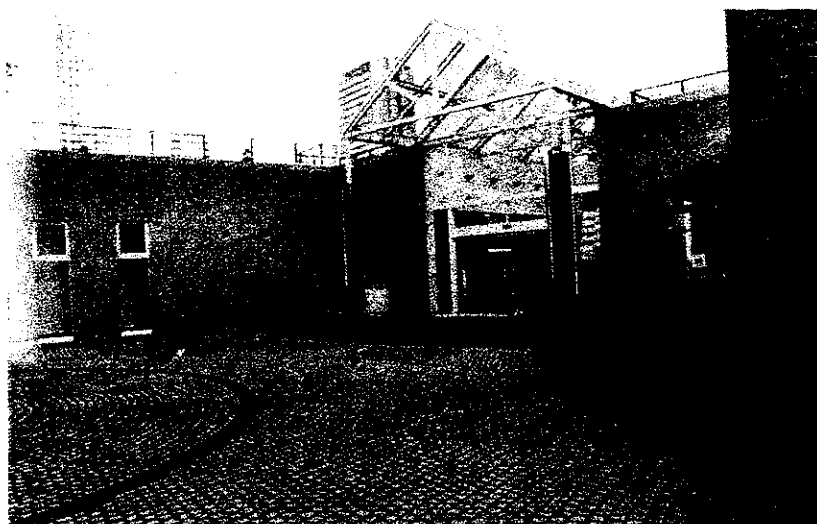
いずれかの日程で都合をつけてご参加ください！

第 53 回会員総会を開催いたします。

開催日時・2025 年 7 月 13 日(日)

会場・日本丸メモリアルパーク・会議室 (桜木町駅前)

受付・10 時 15 分～ 開会 10 時 30 分～11 時 45 分



この人を訪ねる 4 関根俊夫さん

映画監督山田洋次の内弟子の関根俊夫さんは運営委員歴14年の会員です。この度インド、日本、アメリカ合作の「シャンバラ」という映画を完成させました。そんな関根さんにお話を伺いました。

▶「そもそも演劇鑑賞会に入会しようとしたきっかけは何だったんですか？」

「山田洋次監督の『同胞』という映画は旅公演をする劇団を描いた作品です。その作品に刺激されたこともあります。紀伊国屋ホールで観た井上ひさしの『藪原検校』『雨』がめちゃ面白かったのでこの世界に惹かれ、横浜演劇鑑賞会に1911年に入会しました。「20代の頃は写真家になりたくてクライマ



上越市での撮影現場の関根監督

ーと一緒に『北岳』や『穂高』などの雪山に上って写真を撮っていました。その後、山田洋次監督に師事して映画の世界に入りました。共同執筆で『釣りバカ日誌』や泉ピン子主演の連続テレビドラマ『おふくろ先生診療日記』など続けて数10本ほどシナリオを書いたので、非常に疲労が溜まってしまって休みを兼ねてチベットに写真を撮りに旅行しました」

▶「それが映画の題材となったチベットとの出会いだったのですね」。「チベット人の人柄や環境、特に修道僧に惹かれました。東京に戻ってチベット語の先生と出会い、『チベット文化協会』のボランティア活動にもかかわるようになりました。もう20年近くその活動を行っています。その関係で日本で生活するチベット男性と日本人女性との関係などを見聞きして、戒律の厳しい修道僧を題材に映画を作りたいと思い、制作を開始しました。日本では来春上映の予定です」▶「チベットは中国の自治区となり、ダライ・ラマはインドで亡命政府を樹立していてチベットに入学することは難しいですね」。「ダライ・ラマと一緒に弾圧を逃れた修道僧やチベット人約1万人がインドの北西部に亡命政府を作りました。その地の僧侶や村の人そして修道院の協力があって普段では撮影できない修道院など無事に撮影することができました」。

▶「チベット仏教の僧侶が主役として登場する映画になると伺っていますが、戒律について教えてください」。「僧侶は家庭から出て修道院で生活します。結婚も出来ませんから男女間の恋愛、結婚の妨げとなりますが日本にはチベット人とのカップルが多くいます。殆どの僧侶は戒律からの束縛から離れる儀式を行います」。

▶「『映画シャンバラ』について教えてください」。「刑務所を出所した娘（武田梨奈）が祖父（火野正平）との生活を始めますがぎくしゃくして上手くいかない。そんな時にチベットの僧侶（モー・ズーイー・香港の俳優）と出会います。『苦しみから逃れましょう』という助言に惹かれて関係を持つようになりますが、彼はインドに帰ってしまいます。僧侶は戒律を破ったということで僧侶の身分から離れます。娘は追いかけてインドを訪ねますが、会えないままに終わります」。

▶「最後の結末は悲しいですね。悲劇ですか？」

「そう簡単に割り切れない作品になります。タイトルが『シャンバラ』（希望）ですから」。



▶「今後の活動について聞かせて下さい」。

「映画監督は疲れます。それでもやり切れたのは現地のチベット人たちの暖かい協力でした。今は演劇の台本2本を書きたいと思っています。これは一人の作業だし、演劇は何をやっても許されるので映画監督のような気苦労はありません。横浜演劇鑑賞協会の観劇会に取り上げてもらえるような作品を書きますのでご期待ください」▶「期待が広がりました。頑張ってください」

広報部・中山

ガラスの動物園

作・テネシー・ウィリアムズ 演出・倉田 淳

壊れやすい心を持つ姉。過去の栄華にすぎる母。

「家族」を描いたアメリカ文学の最高峰。

テネシー・ウィリアムズの珠玉の言葉が織りなす繊細で
情緒あふれる久々の翻訳劇の世界をお楽しみください。

みどころ

1930年代、経済不況の波がアメリカ庶民の生活を苦しめていた。

生活が苦しくなると人の心も病み、貧しくなってしまう。

人の心は「ガラス細工」みたいに壊れやすいのだ。

この舞台に登場するウィングフィールド家も希望を失い、夢も遠ざかってしまう
日々を過ごしていた。

「欲望という名の電車」「焼けたトタン屋根の上の猫」などアメリカ文学を代表
する名作を書いたテネシー・ウィリアムズの「ガラスの動物園」はブロードウェ
イで561回のロングランを記録した大ヒット作品です。

日本でも多くの劇団が上演し、ハリウッドにも影響を与え2度の映画化がなさ
れた。

登場人物たちは空想の世界に閉じこもって夢を追い求めているが叶わないのだ。
理想を追い求めるだけでは現実には手に出来ない。まずは目の前の現実の中から幸
せを見出さなければならないのだ。

広報部



観劇日・7月1日(火) 開演午後1時30分

開演午後6時30分

7月2日(水) 開演1時

*上演時間2時間30分(休憩時間含む)

会場・県民共済みらいホール



「ガラスの動物園」の見どころを語る

代表の藤原啓児氏を迎えて！

「担当打合せ会議」4月25日・於事務所



出演 榎原秀佳＝アマンダ・ウイング

吉成奨人＝ローラ・ウィング

奥田 努＝トム・ウィング

鈴木翔音＝ジム・オコーナー

「スタジオライフ」は1985年、小劇場ブームの頃に演出家の倉田淳さんと故河内喜一郎氏が立ち上げた合の劇団でしたが、二人いた女優のうちの一人がなんと駆け落ち！ もう一人はタップ・ダンスの勉強にニューヨークに行くということで、急きょ男性が女性を演じたのが始まり。女性の演出で男性だけで演じる事によって雰囲気が出て観客が増えることに繋がり、以来男性だけの劇団として現在に続いている。女性を演じるしては、「声を作らない」「男・女にかかわらず人として共感する部分がある筈」としてやってきている。が市民権を得ている今日、それまで小さくなっていた男性の観客が、違和感なく太い笑い声が聞こえるようになった。これからも男性だけでやっていくだろう。「ガラスの動物園」は1945年3月ブロードウェイで上演、8月迄のロングランになり、二度の映画化。日本初演は1950年。80年代の演劇ブームで多数上演されたが、とした作品としての表現が多かった。ロンドンでは見た時に、観客が手を叩き笑っていた。スタジオライフ術作品と言うよりもどこにでもある家庭の日常として描いている。そこを観て頂きたい。



広報部・竹内

劇団NLT公演「OGⅡ」

担当運営委員のまとめ

まず「OGⅡ」担当打合せ会議を実施。前作OGが面白かった、という話で持ちきりでした。歌手を夢見て地方から

でてきた二人が、夢かなわず、新宿歌舞伎町のキャバレー歌手で終わるかと思いきや、姪が撮影したユーチューブ動画が再生回数を記録し最後のステージは観客満員、二人はスターに・・・というミラクルストーリーは、何度思い出しても感動的！またあんな舞台が見たい！と、今回の例会への期待は大いに盛り上がりました。

そして客席の座席割り作業。今回は久々の青少年センターホールでの例会で席数が多く、シール作業は結構大変でしたが、一ステージということので早めに無事完了しました。

いよいよ二月五日の例会当日。搬入作業は朝九時集合。意外と大道具が多く、作業はわりと大変でした。熱海のスナックの店内、かなりリアルでしたからね。会員の皆さん、ステージでご覧になった大きな「OG」という文字の電飾パネル覚えていますか？あれ、運営担当がみんなで電球とりつけた

んですよ！結構楽しかったです。

さて例会本番。皆さんご覧になったとおり、期待どおり・・・いや、それ以上のパフォーマンス。舞台と客席が一体になった、拍手と感動の演劇ライブステージでした。

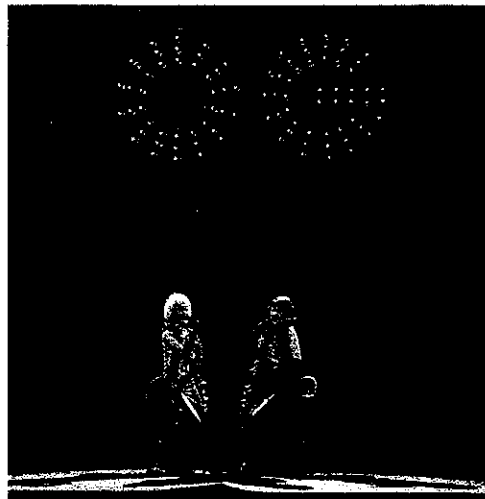
終演後の搬出作業。舞台から元気をもらい、担当会員たちは、わいわいと劇の感想を楽しく述べあいながら作業し、あつという間に終わりました。

例会後の二月十二日は、まとめ会を実施。感動を伝えたい、という会員が多く、感想文は数が多く、高評価のものがほとんどで、この二年間の観劇会作品で最も高い評価を獲得しました。くわしくは、感想「カーテンコール」に、掲載されていますのでそちらを参照してください。同時にOGⅢの公演を望む声も多く聞かれました。

まとめ会に出席した担当会員も感想を述べ合いました。舞台評価に加え、出演女優お二人の、スリットから惜しげもなく見せていただいた「お御足」の評価と懂れに話が弾みました。今回は開演時間が四時という事で昼に観劇していた会員も『夜にかかる時間帯は足が止まる』『働いている会員は参加しにくい』という時間枠だった為に参加できなかった会員も多く、参加率

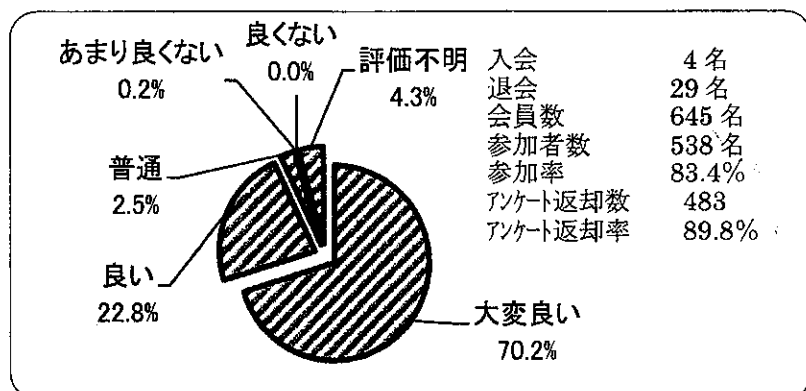
八三、四％といつもより低い参加になつてしまいました。会員数も年末の退会者数を挽回できず、二五名の減少となりました。舞台の評判が良かっただけに残念でした。

運営委員 野村文雄



評価	%
大変良い	70.2
良い	22.8
普通	2.5
あまり良くない	0.2
良くない	0
評価不明	4.3

100



心に残った台詞、「シーン」

▽「シミ、しわ、ほうれい線」

▽ピアノスト上手ですね〜♡

▽歌がとても上手でした。「自分の顔

で生きて行くのよ」生きていきます

よ♡

▽OG!

▽全シーン良かったです。年月の切

り替わりもよくわかりましたし、二

人の歌声も素晴らしかったです。

▽とにかく二人の唄声。

▽「ふるさと」の歌詞『ふるさとは

一つではない』『ふるさとは誰かが待

っていてくれるところ』私も誰かの

故郷になりたい。

▽「ふるさと」は特に心に沁みまし

た。すばらしかったです。

▽女の顔は生きてきたあかし。

▽スミちゃんの「一人になるこわ

さ」

▽心にふる里がありますか?

▽故郷は自分の心に永遠に有るも

の!

▽「ここにしか咲かない花がある」

(「化粧」)

▽「ミラクル」の歌詞。何が何でも

生きて行けば良いさ。

▽ラストのステージ(ショータム)

▽「シミ〜シワ〜」の歌は元氣をもら

えてよかったです。

▽全〜部

▽「一人になる恐怖」

▽ステージのシーン

▽亡き夫に対して「最後にのぞんでい

たことをしてあげられたか?」という

言葉

▽「ハイケイビー」

▽「バラバラになってもそのまま心に

自分の顔で生きていく」

▽「この頃、物覚えがすこしずつ薄れ

て『なんだろう』と考えてしまう」。

▽「心のふるさと」同感です。

▽首と手の年齢は隠せない。

▽一人ではない、だれかが、支えてくれ

る人がいる。

▽自分の顔で生きていく。生きてきたあ

かしだから。元氣もらったよ。

▽笑って生きていくこと。

▽この気持ち、この心で生きて行く!

▽沢山あり、とてもよかった。

▽ピアノが素晴らしい。上手でした。

▽「誰かに必要とされたかった」

▽女の顔は生きてきたあかし。

▽最後のショーへの変身が素晴らしかった。

▽「生きて行こう。私達はもうオー

ルドガールズ。だけど心は永遠にガ

ールズ」

▽「九年、お互い年をとる」

▽「バラバラになったかけらを無理

につなぎ合わせることはない。かけ

らはかけらのままで」

▽最後のディナーショーは楽しかった。

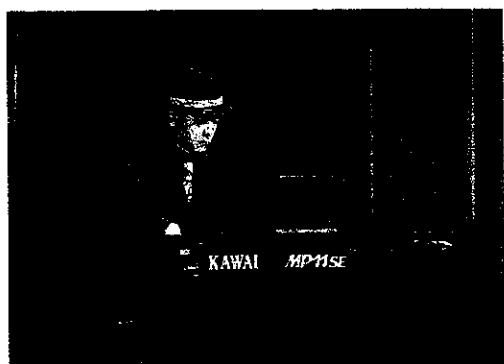
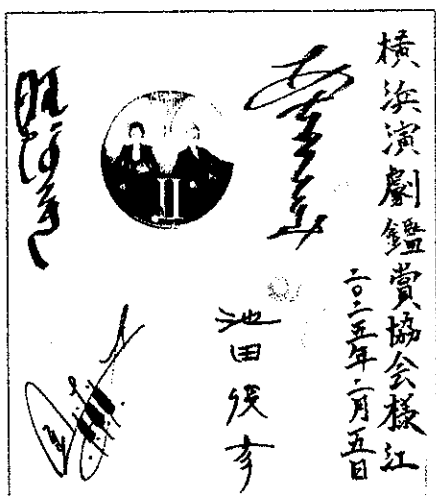
▽「世間って時間さえたてば忘れて

くれる」

微妙に変えている曲(ザ・ピーナツ

ツ) オリジナル。ちゃんとわかるけ

ど変えているのも面白かった。



次々回観劇会

第 330 回観劇会・Nana Produce

其の女

ー渋谷はるかー人芝居ー

作・古川健（劇団チョコレートケーキ）

演出・日澤雄介（劇団チョコレートケーキ）

出演・渋谷はるか（文学座）

日時・9月25日(木)・26日(金)

開演 13 時・18 時 30 分 13 時

*上演時間 1 時間 20 分（休憩無し）

会場・県民共済みらいホール



1945年8月6日、広島で原爆によりケロイドを負い、10年後、その治療の為に渡米した25人の女性たち。日本のマスコミは彼女たちを『原爆乙女』と呼んだ。乙女の柔肌に刻み込まれたケロイドは、治療してもなお体に残り続け、彼女たちを苛んだ。

25人のうちの一人『弘子』。ケロイドと苦悩と共にあり続けた彼女は帰国後どう生きたのか？その結婚、出産、そして成長していく子供との軋轢。被爆から数十年を経て、彼女の到った境地とは？あの時代の広島を生きた一人の女性の、悲しみと喜びと愛情の物語。

「被爆者の窮状、実相を訴え続けて」原水爆被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞した昨年。結成宣言で「自らを救うとともに、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」との決意を表明し、「核兵器の廃絶と原爆被害者に対する国の補償」を求めて運動に立ち上がりました。

横浜演劇鑑賞協会が9月に迎える「其の女」はまさにタイムリーな作品で必見の舞台です。

観劇を前に「担当サークルの集い」6月24日（火）10時30分に主演の渋谷はるかさんが来局して、観劇会の魅力についてお話してくれる機会を設けました。素敵な機会ですので是非、担当でない方もご参加ください！



2025年6月～8月スケジュール

5月

28日 水 「おシャシャのシャン」まとめ会10時30分～・18時30分

6月

3日 火 6月会費受付・「ガラスの動物園」座席シール発行・サークル懇談会

4日 水 6月会費受付・「ガラスの動物園」座席シール発行・サークル懇談会

6日 金 6月会費受付・「ガラスの動物園」座席シール発行・サークル懇談会

7日 土 6月会費受付・「ガラスの動物園」座席シール発行・サークル懇談会

24日 火 7月会費受付・「其の女」希望日申込み・「其の女」担当打合せ10時30分・18時30分

25日 水 7月会費受付・「其の女」希望日申込み

27日 金 7月会費受付・「其の女」希望日申込み・「ガラスの動物園」前日作業

28日 土 7月会費受付・「其の女」希望日申込み

30日 月 「ガラスの動物園」・舞台道具搬入

7月

1日 火 「ガラスの動物園」観劇会13時30分 18時30分

2日 水 「ガラスの動物園」観劇会13時

8日 火 「ガラスの動物園」まとめ会10時30分～・18時30分～

13日 金 会員総会

23日 水 「其の女」座席割作業10時30分～

8月

1日 金 8月会費受付「其の女」座席シール発行

2日 土 8月会費受付「其の女」座席シール発行

5日 火 8月会費受付「其の女」座席シール発行

6日 水 8月会費受付「其の女」座席シール発行

12日 火 夏季休局～18日

編集後記

■休みがない！コロナや風邪で有休を使いきつてしまい、ただ働くのみ・・・せかつくの「おシャシャのシャン」ツアーにも参加できず、残念！

■何時咲くのか毎年々やきもきとする。桜の開花だけど、今年は青空のもと土曜、日曜とステキな花見ができました。

■桜は咲いたのに天候不順の連日でした。そのおかげで日持ちした桜見に行くことができました。温暖化の悪影響で、この先日本の桜もどうなるか心配です。

■四月、今年度は初めて町内会の班長になった事。孫五君が中学入学したこと。あとは変わらないう仕事と観劇の日々になるといいな。

■風薫る五月。梅雨になる前に思いっきり遊んじゃおう。井田

■「おシャシャのシャン」の担当打合せ会が事務所の椅子が足りなくなるほど盛り上がった。作者の坂口理子さんの話も中味が濃く、「大鹿村」のへ村歌舞伎ツアールも実現した。この幕あいが発行するときにはその報告も聞いている事だろう。そして、今回は客席交流会も開催されるという。鑑賞会にも春がやってきた。



発行日 2025年5月22日（木） 横浜演劇鑑賞協会

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-75 関内北原不動産ビル503

TEL 045-227-5535 FAX 045-227-5609 メール yokoenjimu@keh.biglobe.ne.jp